



活動報告：全道里親大会に参加しました

平成 26 年9月7日(日)に北海道里親研修大会・全国里親会北海道地区里親研修大会(全道里親大会)が、岩見沢市のホテルサンブラザを会場として開催されました。中央地区里親会からは太田会長をはじめ 21 名、中央児童相談所から清澤所長ほか6名、また里親支援専門相談員の方々も参加されました。

式典では寺山道里連会長の式辞に続いて、北海道知事(代理)、星野全国里親会会長および岩見沢市の松野市長から主催および共催者としての挨拶がありました。



【表彰式】 大会では毎年、子どもたちの養育に尽くしてきた里親さんが表彰されます。今年、中央地区里親会からは秋元竜己・静怡さん(北広島市)が北海道知事表彰・北海道善行賞を、菅沼孝一・さとみさん(石狩市)が北海道里親会連合会長表彰を受賞されました。長年にわたり、深い愛情と誠意を持って子どもたちを守り、育てて来られた秋元さんと菅沼さんに心からの敬意を表するとともに、お祝いを申し上げます。

【特別講演】 フリーライターで、全国里親会機関誌「里親だより」の編集委員もされている村田和木さんが、「本当の”里親力”とは？-心のケアが自立につながる」と題して特別講演をされました。10年にわたって里親と里親に養育されている子どもたちを見てきて、また生活ボランティアとして都内の児童養護施設で暮らす子どもたちと接してきて、感じることや思うことについて感情豊かに話していただきました。



社会的養護の目的は、子どもが「自分は生まれてきて本当に良かった」と心底から思えるようにすることであり、「子どもが自分らしく楽しく生きていけるように、彼らのニーズを満たし、温かく見守ることが里親の役割である、との村田さんの考えはとても説得力があり、多くの参加者が共感してうなづく姿が見られました。

【全体会議：シンポジウム】 昼食をはさんで午後からは「子どもたちの自立に向けた支援について考える」をテーマとしたシンポジウムが行われました。中央児童相談所の元所長で児童養護施設「札幌南藻園」園長の大場信一さんは「児童養護施設から考える自立」について、自立援助ホーム「ふくろうの家」の高橋一正さんは「困難を抱えている若者たちの支援について」、そして中央地区里親会の会員で知的障害者入所更正施設を運営されている菊地修二さんは「障がい者の自立支援を通して」と題して、それぞれ話題提供をされました。その後、村田和木さんの助言を含めながら各シンポジストの意見交換、および会場からの質疑応答が行われました。2時間足らずの短い時間ではありましたが内容の濃いシンポジウムでした。





【次期開催地挨拶】 閉会に先立って、来年の開催地となっている石狩・後志地区の里親会として太田会長が挨拶をしました。当日参加した中央地区里親会の会員が持った横幕を背景に、「北広島クラッセホテルを会場として平成27年9月5日が交流会、翌6日を大会とする日程で開催します。天然温泉が付属したホテルで、宿泊料もできるだけ安くなるように考えていますので、ぜひ道内各地から沢山の方が参加されますようお願いいたします」と力強いメッセージを送り、盛んな拍手を受けました。



一年後のことではありますが、今から準備を始めないと間に合いません。9月21日(日)に中央地区里親会の役員会に続いて、10月上旬ころに実行委員会を立ち上げる予定になっています。大会の開催に当たっては全ての会員の協力と参加が必要ですので、よろしくお願いいたします。

お知らせ：「施設や里親家庭で暮らしている若者への入学支援金」の給付希望者を募集

一般社団法人日本子ども虐待防止学会が2009年に設立15周年を記念して、施設や里親家庭で生活している子どもたちの進学を応援するために入学支援金制度を創設し、2014年度も支援金交付事業が実施されます。

◇応募資格：2015年4月に大学、短大、専門学校などへ進学を希望する高校3年生。

◇給付内容：入学時に納める費用の上限50万円までを贈呈、返済は不要。

◇募集人員：2015年度入学者の募集は2名程度。

◇応募方法：応募用紙(本人申込書A、里親申込書B)を日本子ども虐待防止学会ホームページからダウンロードして(<http://www.jaspcan.org/>)記入の上、「進学と将来の夢について」をテーマとした課題作文(400字詰め原稿用紙に1000字以内)を添えて、学会事務局まで郵送。

(申込書がダウンロード出来ない時は、中央地区里親会事務局までご連絡ください)

◇締めきり：2014年10月31日(金)必着

活動報告：「コンサドーレはまなすシート」の希望調査を実施しました

平成26年9月4日、北海道保健福祉部子ども未来推進局から北海道里親会連合会に対して、「株式会社北海道フットボールクラブおよび「コンサドーレ札幌を応援する道職員の会」から、児童福祉施設入所児童などを対象として、コンサドーレ札幌主催し合いの福祉観戦席チケットを寄贈する申し出がありましたので、各地区里親会(札幌市を除く)に連絡すると共に、9月16日までに観戦希望者を報告ください。」との連絡がありました。

観戦チケットが提供されている試合は、10月11日(土)VSジェフユナイテッド(札幌厚別公園競技場)、10月26日(日)VS湘南ベルマーレ(札幌ドーム)、11月9日(日)VSカマタマーレ讃岐(札幌ドーム)です。

9月7日に北海道里親会連合会から上記の連絡を受けて事務局では9月8日、小学生以上の児童が委託されている里親さんに、観戦希望の有無と希望する試合、観戦希望者数を同封の葉書に記入し、事務局まで連絡して欲しい旨の文書を郵送しました。回答までの時間があまり無い中での調査ではありましたが、サッカーに興味のある子や、札幌ドームへ行ってみたい子の希望に添えれば良いと思います。